

# ひこね第九オーケストラ 26<sup>th</sup> Summer Concert

## 2026.6.28(Sun)

ひこね市文化プラザグランドホール

14:00 開演 13:00 開場

### 交響曲第6番「田園」 / L.V.ベートーヴェン

チェロ協奏曲 / A.ドヴォルザーク

「ニュルンベルクのマイスタージンガー」  
第1幕への前奏曲 / R.ワーグナー



指揮：高谷 光信



チェロ独奏：高木 俊彰

入場料：1,000 円（全席自由）

会場へのアクセス▶



チケット販売：2026年4月29日より

販売場所：ひこね市文化プラザチケットセンター / 滋賀県立文化産業交流会館  
/ 平和堂 ビバシティ彦根・アルプラザ彦根・アルプラザ長浜

主催：ひこね第九オーケストラ

お問い合わせ先：090-9551-4071（事務局 佐々木）

後援：彦根市・彦根市教育委員会 / 朝日新聞大津総局 / 読売新聞大阪本社

楽譜協力：JAO ミュージックライブラリー



## 指揮：高谷 光信 Mitsunobu Takaya

東京混声合唱団 指揮者 (2019年4月～)、ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団 常任指揮者(2012年4月～)、一般社団法人 日本ウクライナ音楽協会 理事長 (2022年2月～)、四條畷市文化協会 会長(2026年4月～)、四條畷市市民総合センター NMP 芸術監督(2022年10月～)、Jルークスシンガーズ 音楽監督(2019年～)、ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院指揮科首席卒業。国家演奏家資格ディプロマを取得。指揮を故小松一彦、故伊吹新一、田中良和、藏野雅彦、辻井清幸、V.プラソロフ、故E.ドゥーシェンコ、N.スーカッチに師事。2003年ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団の定期演奏会に登壇しプロデビューを果たす。首席客演指揮者 (2003～2006) 第2指揮者 (2006～2012) 常任指揮者 (2012～) に就任。



『ウクライナ国際ホロヴィッツピアノアカデミー』、『ウクライナ国際シヴィール音楽祭』、『ウクライナ国際音楽祭・キウ夏の音楽の夕べ』、『ウクライナ国際バルトケーヴィッチ音楽祭』に出演。2010年より『ウクライナ国際指揮マスタークラス』の講師・審査員を務める。現在までに東京混声合唱団、神戸市混声合唱団、ウクライナ国立合唱団ドゥムカ、ウクライナ・チェルニーヒウ州立ポルトニャンスキー室内合唱団、ウクライナ・リヴィウ国立フィルハーモニー交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京、大阪交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、テレマン室内オーケストラ、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、東京室内オーケストラ、愛知室内オーケストラ、エウフォニカ管弦楽団、ムジカフィルハーモニー管弦楽団、大阪チェンバーオーケストラ、神戸市室内合奏団などを指揮。《題名のない音楽会》(テレビ朝日・Osaka Shion Wind Orchestra 2014年11月23日放送)、《かんさい熱視線》(NHK 大阪・戦地から奏でる“希望のムジカ”ウクライナと日本の音楽家たち 2022年9月2日 放送)、《クラシック音楽館》《クラシック倶楽部》など、多数のTV番組に出演。2017年より故フジコ・ヘミングと共演を重ねる。東京混声合唱団においては2008年の初登壇より約100回の共演を数える。関西大学客員教授。大阪芸術大学演奏学科客員准教授。名古屋芸術大学大学院音楽研究科・芸術学部音楽領域、武庫川女子大学音楽学部、各講師。

第16回京都芸術祭京都市長賞 受賞 (2002年京都)、チェルニーヒウ州文化功労賞 受賞 (2012年7月ウクライナ)、チェルニーヒウ州行政長 文化功労感謝状 受彰 (2019年7月ウクライナ)

## チェロ独奏：高木 俊彰 Toshiaki Takagi



名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。卒業時に同声会賞受賞。チェロを林良一、河野文昭の各氏に師事。大学在学中、奨学生として渡仏し、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてアラン・ムニエ氏のもとで研鑽を積む。

これまでにソリストとして、ハイドン、ベートーヴェン、エルガー、ドヴォルザークなどのチェロ協奏曲をオーケストラと共演するほか、室内楽奏者としても精力的に活動。特に作曲家ごとの作品を体系的に取り上げる企画に力を注ぎ、室内楽集団レーベインムジークのチェロ奏者として、ラヴェル、ブラームス、フォーレの室内楽全曲演奏会を完遂。これらの活動により名古屋音楽ベンクラブ賞を受賞。また、2022年にはベートーヴェンのチェロ作品全曲リサイタル (全2回) を開催し、名古屋市民芸術祭特別賞を受賞。現在はシューマンおよびベートーヴェンの室内楽全曲演奏会に取り組み、作品を継続的・多角的に捉える演奏活動を展開している。2025年にはNHK-FM「リサイタル・パッション」に出演。

教育活動にも積極的に取り組み、名古屋市立菊里高等学校音楽科、名古屋芸術大学、金城学院大学にて後進の指導にあたるほか、各種コンクール審査員も務めるなど、演奏・教育の両面において幅広く活動している。

## ひこね第九オーケストラ Hikone Daiku Orchestra

1997年12月、ひこね市民手づくり第九演奏会に向け結成。

1998年12月に第1回の演奏会、翌年には彦根における第2回ひこね市民手づくり第九演奏会とベルリン第九演奏会を成功させる。2000年夏にはオーケストラ単独でのサマーコンサートを開催し、その基盤を固めてきた。

メンバーは学生からシニアまで幅広い年代の団員で構成。毎回著名な指揮者を迎え、本格的な演奏会を開催している。

現在もひこね市文化プラザを演奏拠点とし、彦根の音楽文化の発展に寄与すべく演奏活動を続けている。